

徳島県立 城東高等学校

30年後の理想の徳島を実現するために
～SDGs・大学研究・企業研修を通して考える未来への提案～

ゼロ・ウェイストを城東に そして徳島市に

■課題設定の理由

上勝町のゼロ・ウェイストや、彩を参考に城東高校や徳島市全体をより良くしたいと考えたから。

12 つくる責任
つかう責任



■探究の目的

ゼロ・ウェイストセンターと彩の成功事例を参考に城東高校から徳島市内へとゼロ・ウェイストの取り組みを普及・展開させるための具体的な施策を提案する。

■事前学習

- ①ゼロ・ウェイスト政策、上勝から徳島へ、そして日本中に普及
- ②政策、教育、目標のリサイクル率

■現地調査

調査先*ゼロ・ウェイストセンター見学
パンゲア職員さん、
町役場の職員さんのお話

■現地調査結果

研修を通して、重要な考え方を2つ学んだ。

	考え方
クリティカルシンキング	バイアス一切無しに発想の転換をし、柔軟で新しいideaを生み出す
ロジカルシンキング	論理に基づいて考える

この2つの考え方をうまく組み合わせ、葉っぱビジネス彩の仕組みやゼロ・ウェイスト政策が生まれた。

上勝町という小さな規模だからこそゼロ・ウェイストや葉っぱビジネス彩の仕組みが実現できた。東京などの大都市で行おうと思えば、受注の競合が大きくなりすぎて問題が発生したと予想される。

■事後学習

事後学習を通してゼロ・ウェイストの取り組みが単なるゴミ削減運動ではなく**地域経済の安定化**や**ICTを活用した効率化**といった具体的なビジネスや生活の仕組みに組み込まれたことが理解できた。



■考察

ゼロ・ウェイスト…小規模だからこそできる
彩…競争力を高めることが効果的である



- ・城東高校を**小さなコミュニティー**にわせる
- ・順位を作り、**競争力を高める**

■まとめ（提案）

城東高校で

- ・小規模のグループ（クラス）に分け、五人組のように**相互にチェック**しながら、ゼロ・ウェイストに取り組む
- ・学校全体で**貢献度のランキング**を作る
⇒実効性・競争性を高める



四国放送や徳島新聞に取り上げていただき、**徳島市全体**に取り組みを広める

引用・参考文献

<https://spaceshipearth.jp/happa-business/>
<https://zwtk.jp/zwcenter/>